



シラバス参照

タイトル「**2015年度 観光学部シラバス**」、フォルダ「**2015年度 観光学部シラバス**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	観光統計		
担当教員	大井 達雄		
対象学年	1年	クラス	T1
講義室	シス情第3 演習室	開講学期	後期
曜日・時限	水5	単位区分	
授業形態	講義	単位数	
準備事項			
備考			
科目名 (英語表記)			
授業の概要・ねらい	観光研究では理論を組み立てるだけでなく、実際のデータにもとづいて実証的に理解していく必要がある。従来、日本の観光統計は世界的にみて信頼できるデータが少ない状況にあったが、観光市場の経済波及効果が年々大きくなっていくこともあり、その整備が進められている。この授業では、日本における観光統計体系（作成・公表・利用方法など）を理解した後、国際的に進められている観光サテライト勘定（TSA）を使用して、実際に観光市場の経済波及効果を計測することを目的とする。教材として、観光庁が作成したMICE経済波及効果測定モデルを使用する予定である。		
授業計画	第1回 観光統計の意義、体系と変遷 第2回 日本と海外の観光統計制度の比較と活用事例の紹介 第3回 日本における観光統計の種類・定義・作成方法・問題点 第4回 観光統計の利用1：宿泊統計、観光入込客統計、交通手段など 第5回 観光統計の利用2：外国人観光客、インバウンドとアウトバウンドなど 第6回 観光統計の利用3：旅行・観光消費動向調査、需給調査など 第7回 観光統計の利用4：観光産業（ホテル、レジャー、旅行業など）の状況 第8回 観光サテライト勘定1：意義と作成方法、国民経済計算の中での位置づけ 第9回 観光サテライト勘定2：観光需要、消費額の計測と推定 第10回 観光サテライト勘定3：観光商品・サービスの供給額の計測 第11回 観光サテライト勘定4：観光GDPの推定 第12回 観光サテライト勘定5：産業連関分析による経済波及効果の計測 第13回 MICE経済波及効果測定モデル1：推計の考え方と流れ 第14回 MICE経済波及効果測定モデル2：利用方法 第15回 MICE経済波及効果測定モデル3：結果の活用		
到達目標	観光統計を使用して、日本の観光市場、または観光産業の特徴を理解し、加えて、TSAを通じて観光産業の経済波及効果を計測するための基本的な手法を習得すること		
成績評価の方法	期末試験、レポート、および出席点で評価する。基本的な点数配分として、期末試験50%、レポート30%、出席点20%を予定している。		
教科書	特に指定しない。プリントを配布するので、大事に保管すること		
参考書・参考文献	観光庁の統計情報 (http://www.mlit.go.jp/kankochou/siryoutoukei/index.html) のホームページなど		
履修上の注意・メッセージ	パソコン教室でネットやエクセルを使用しながら説明するので、ITに関する基本的な知識を有すること くれぐれも欠席しないこと。欠席をした場合には、各自でフォローすること		
履修する上で必要な事項			
受講を推奨する関連科目			
授業時間外学習についての指示	基本的には、毎週新しいテーマについて学習することになるので、復習については各自でしっかり行うこと		
その他連絡事項			



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.